

第10回 ウルトラ FM 番組審議会

1 開催年月日

令和3年3月23日(火) 10:00~11:15

2 開催場所

須賀川市民交流センターtette4階(4-1)

3 委員の出席

委員総数 6人

出席委員数 5人

(1) 出席委員の氏名

堀江祐介 (会長)

安藤清美 (副会長)

村上空織

横山知佳

久保木彩歌

(2) 欠席委員の氏名

真壁正人

(3) 放送事業者側出席者

菊地大介 (FM 担当取締役)

柳沼宏延 (放送局長)

4 あいさつ

(堀江会長)

2月と3月に大きな地震が発生しました。福島県は10年前に3.11で地震を経験。その時に被災した街中の建物は再建したおかげで、今回の地震で被害を受けた建物は少なかったのが良かった。また、今回の地震で、3.11を思い出し、その当時、災害FMの立ち上げたときを思い出した。当時は、災害の他に原発事故もあり、その中で情報を伝えようと有志メンバーで奔走し、公立岩瀬病院の三浦院長からの話は、多くの市民に安心をもたらしてくれた。その活動は、総務省にも高く評価され、その後2年前にこのウルトラFMが開局できたことは今でもうれしく思う。

(菊地担当取締役)

東日本大震災から10年が経つ中で、先月に大きな地震が発生。ウルトラFMでも、特別放送を行った。この一年間を振り返ると、新型コロナウイルス感染に尽きる一年だった。特に、今から一年前に、新型コロナウイルス感染による、スポンサーが減少することが予想されたが、努力によりその影響は少なくてよかった。しかし、須賀川市のイベントがなくなり、収益の落ち込みが見られた中で、新型コロナウイルス感染対策として、空きテナント活用してのサテライト放送を行い、また動画制作に力をかけた営業戦略を行ったことで、須賀川市より動画制作の依頼があるなど、ウルトラFMとして新たな事業展開を図る。

また、先月の地震を経験し、今後の課題として災害放送を行う中で情報の伝え方について考えると、インバウンドで訪日した外国人へ向けた情報発信などについて、コミュニティ放送局として、今必要とする情報を発信できればと思う。

5 議題

- (1) 「福島空港からの空の旅」(3月5日放送分) について
- (2) 「教えて消防本部3月号」(3月5日放送分) について
- (3) その他

6 議事の概要

- (1) 「福島空港からの空の旅」(3月5日放送分) について
事務局からの概要説明の後、意見聴取を行った。

(村上委員)

今回、空港の番組を聞き、これまで福島空港からは札幌、大阪しか行けないと思ったが、乗り継ぎの魅力を感じた。6、7年前に九州へ行った際に大分まで福島空港からの乗り継ぎで行き、とても楽しい思い出がある。今回、福島空港がANA職員の研修の場となっていることを聞き驚いた。また、大阪の伊丹空港での豚まんのお土産の話などを聴けるなど、パンフレットに乗っていない情報が聴けて良かった。パーソナリティの聞き出し方がとても良かった。

(安藤副委員長)

この番組は昨年4月よりスタートし、福島空港のある須賀川の魅力伝えることはウルトラFMでしか出来ない番組だと思う。福島空港の魅力や福島空港を身近に感じることを目的に制作されている番組は、聞いた人に福島空港の魅力を感じるとともに、多くの人に伝えたい内容になっている。福島空港がANAの企業研修のされていることが紹介されていることは、今回聴き素晴らしいことと思う。大阪からの乗り継ぎ情報は多くの人知らないと思うので、この番組の情報は魅力があり、ぜひ皆さんに活用してほしい。

(堀江委員長)

伊丹空港でのお土産情報の中で、豚まんの話、一口餃子の話などの話が良かった。乗り継ぎの情報では、大阪の空港を軸にもっと九州、四国などの魅力を多く伝えてほしい。私は、福島空港で松山へ行った際にお昼前に着き、とても良い観光が出来た。乗継便のPRは、とても観光の魅力を伝えることが出来ると思う。可能であれば、番組内にジグゾーのスカイハイの音楽を使ってもらおうと良いのではないか。

(菊地担当取締役)

当初、大阪の伊丹空港にあるラジオ局と繋がることを模索していたが、新型コロナウイルス感染の拡大などにより出来ず、その中で就航先である大阪の空港ターミナル情報は大切だと思う。九州へのトランジットが出来ることは、福島空港の大きな魅力。伊丹空港の使い方を伝えることで、もっと旅行が身近になり、空港の魅力に繋がる。

(横山委員)

伊丹空港の話を楽しく聞けた。大阪へ行きたいと思った。須賀川の人たちはあまり外へ行く人が少ないので、番組を通じて旅行に行ける良いきっかけとなったのではないか。

(久保木委員)

今、旅行が出来ない人にとって、とても良い情報と思う。ただ、伊丹空港の話だけではなく、福島空港内の情報もあればと思う。

(柳沼放送局長)

この番組は、ANA 職員が自ら情報を伝えたい内容を放送しています。福島空港に特化した情報提供はこの番組以外に、平日の朝と夕方に伝えていまして、そちらで福島空港内のイベント等を紹介しています。

(2)「教えて消防本部3月号」(3月5日放送分)について

事務局からの概要説明の後、意見聴取を行った。

(安藤副委員長)

消防署の業務は、火事や救急のことしか知らなかった。それ以外の業務内容について、番組を通じて知識を得ることが出来た。身近な生活に活かせる情報でしたので、これからも番組を続けてほしい。

(横山委員)

ここ最近、火災が多く、火事は身近な事であると感じた。改めて生活の中に危険が存在していることを知り、防ぐことの大切さを感じた。

(村上委員)

最近、たびたび火事が発生している。火事はいつ起きるか分からない中で、自分に関係ないと思っていたが、番組を通じて消防署に対して理解が深まった。

(堀江委員長)

クイズ形式での話はとても良かった。1日1回、番組内で行うと良いのではないかと思う。とても生きた情報だと思う。

(菊地担当取締役)

この一年見ても火事が多かった。その中で、ウルトラ FM ではその都度、緊急放送を行っている。災害に対して、意識した番組づくり、聞いている人に気づかせるラジオ FM となれるよう、ラジオ運営をしていきたい。

(堀江委員長)

地震や災害になると必ず保険の話になる。保険には知らないことがあるので、番組内で保険についての情報も入れてほしいと思う。

(菊地担当取締役)

地震で思い出すのは、北海道胆振東部地震。その時、帯広の FM では停電時でのウォシュレットの使い方を放送していた。とても参考になった。防災情報の出し方をウルトラ FM でも考えるきっかけとなった。

(堀江委員長)

防災チェックが取れるよう、生きた情報がラジオ局には求められる。

(安藤副委員長)

保険の話はあえて避けてきたところがある。だが、必要であり、その時に FM で日頃の情報として知識の話をしてもらえると助かる。

(久保木委員)

クイズ形式での番組は聞いている人に参加できる内容で良かった。パーソナリティの女性の話をとても聞きやすかった。

(柳沼放送局長)

皆さんの意見を今後の番組運営に反映していきたい。

(3) その他

(堀江委員長)

番組内に童謡の番組を取り入れてほしい。ぜひ検討を。

(柳沼放送局長)

4月の番組改編で、童謡の音楽番組を行う予定となっている。

7 報告議題

(1) 令和3年4月番組改編のおしらせ

事務局の柳沼局長から説明が行われた。

説明後、出席者より質問等の発言は無かった。

8 審議会の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

・特になし

9 審議会の意見の概要の公表

公表方法：自社ホームページへの掲載

公表内容：本議事録

公表年月日：令和3年3月30日

10 その他の事項

次回の放送番組審議会日程について

・令和3年6月を予定。開催日は会長と相談の上決定し、委員に連絡する。